

## ワークショップ・研修会報告

### 「スタディスキルゼミ」、「知のナビゲーター」ワークショップを開催しました



教員とLA学生の共同作業の様子

昨年度まで「スタディスキルを身につける」という科目名で開講されていた全学共通科目が、今年度からは「スタディスキルゼミ（各テーマ）」と名称を変え、バラエティ豊かにパワーアップしました。用意されたテーマは「ノートをまとめる」、「パソコンで学ぶ」、「プレゼンテーション」、「レポートを作成する」、「課題探求」、「ディベート」の六つです。4月からの授業スタートに向け、教育推進部・教育開発支援センターでは、スタディスキルゼミ（および文学部開講科目「知のナビゲーター」）の担当教員と、スタディスキルゼミの受講生のアシスタントとして働いてくれるLA（Learning Assistant）の学生を対象とするワークショップを3月

24日に実施いたしました。

ワークショップは、「プレゼンテーション」、「ディスカッション」、「ディベート」の三つのセッションを含み、それぞれ実際の授業と近い内容のワークを、教員とLA学生が共同作業を通じて実践してみることをねらいとするものでした。参加者は30名を超え、それぞれのセッションは授業さながらの熱気あふれるものとなりました。

「プレゼンテーション」のセッションでは、教員・学生ともに4月からの授業において行う頻度の高くなる「自己紹介」をテーマに、魅力的な自己紹介の作り方と、そのプレゼンテーションの技法をグループごとに競いました。「ディスカッション」のセッションでは、「関西大学の初年次学生に受けてもらいたい授業とは？」というテーマで、ブレインストーミングとKJ法を実践しました。最後の「ディベート」のセッションは、プレゼンテーション・情報収集・時間管理など、複数のスタディスキルを使いこなす必要がある、高度なアクティビティです。今回のワークショップでは「大人数講義で出席を

取るべきか否か」を論題に、肯定側・否定側に分かれて熱い論戦を交わしました。

プログラムは、トータルで5時間を超える長丁場となりましたが、参加者の皆さんの高い参画意識に支えられ、時間の長さを感じさせない集中したものとなりました。それぞれのセッションに対する参加者の満足度はいずれも高く、4月からの授業開始に向けてよい滑り出しになつたという感想も聞かれました。また、LAの学生とともに実践を行うことで、学生スタッフと教員の間の連携をはぐくむ一契機となりえたことも本ワークショップの大きな意義だったと言えるでしょう。（教育推進部助教 須長一幸）



グループワークの内容発表

### FD Caféを開催しました

去る4月3日(土)、千里山キャンパス第2学舎C301を会場に新任教員研修会(FD Café)が開催されました。今回の対象者は4月1日ご着任の新任教員と関西大学での教員歴3年未満の教員です。新年度開始早々の忙しい時期であるにもかかわらず、36名のご参加を得ました。

研修はアイスブレークを兼ねたグループингからはじまり、一つのテーマについてのダイアログ(対話)を重ねる“World

Café”を経て、参加者がグループごとにまとめたキーフレーズをMap(mind map)として描く、というスタイルで進行してきました。「大学4年間で学生に学んでほしいこと」というテーマには複数のアングルからの意見が出されましたが、それがゆるやかではあるものの、相互に、あるいはそれぞれの延長線上に有機的な結びつきをもつことが確認されました。

とはいって、今回の研修は「4年間の学生生活で学んでほしいこと」が何であるのか、その結論を得ることを目的としたものではありません。出された一つ一つのフレーズの適否あるいは可否について論じることも目的ではありません。教員が共通するテーマについて意見や情報を交換し、知見やアイデアを共有すること、そのよう

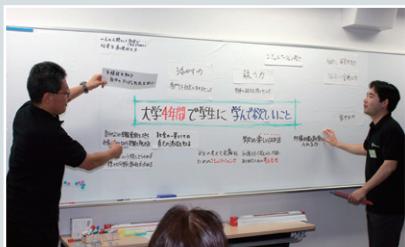


本物のCaféのような楽しい雰囲気の中で行われる意見交換 (“World Café”)

な営みを促すための仕掛けを擬似的に体験していただき、その意味や価値を実感もしくは予感していただくことを目指すものでした。それは昨年に開催した第一回FDフォーラムのテーマとして取り上げた“Facultyづくり”につながるものでした。

今後も同様の企画を開催していく予定です。皆様の積極的なご参加と、このような企画に対する要望やアイデアなどを寄せいただくことをお願い申し上げます。

（教育推進部教授 三浦真琴）



mind mapづくり